

から大正時代昭和へと その社会風俗と文化

(1)

平成30年10月

原 弘之輔

大正時代(14年5カ月)の文化は大正デモクラシーとは反映した
デモクラテイツクな性格を反映した労働 農民 婦人 学生運動 部落解放
運動など社会改革的「改造の時代」であった
昭和になってから開花したプロレタリア文化の民衆への普及が色濃く現れ
インテリゲンチァー層の拡大に至った
強めた時代と言える

明治時代と比べると国家政府からの従属性からの脱却と民衆の独立性が高まった
第2の特徴は 文化の個人主義的性格を強めた

第3に 文化の国際性 西欧と日本文化のかかわりあいが高まった「一日も早く追
いつけ…」から主体的受け止め方が強まり技術 学問 芸術分野での国際水準に達
するものもでてきた

第4は 文化の新しい媒体が普及して映画 レコード ラジオ放送の開始は
大正14年3.25であった

大正時代の人口は5504万から6021万に増加 この間 第一次世界大戦では西欧で3000万の
犠牲者が出たが日本では1000人が犠牲となった(参考日清戦争で8000人 日
露戦では80000人が犠牲)

この大戦でロシアのロマノフ朝が倒れソヴィエト社会主義共和国連邦誕生

ドイツは労働者の武装蜂起でホーエンツォレルン朝倒れウイルヘルム2世が去った オーストリア
はハプスブルク帝国が倒れワイマール共和国が誕生

3つの皇帝が崩壊した

大正時代には繁栄と拡大そして不況 恐慌を体験してる 戦勝国として5大国(英
仏米伊)入りを果たすが大正9年には国際連盟を脱退している

大正12年にはマグニチュード7.9関東大震災があり99381人が死亡 不明43476人 全壊12万
家東京横浜で7割が焼失して昭和恐慌の原因となった ここで日本は変わらないと滅びる「国家
改造論」が強まり多くの「改造団体」が出てきた

その主張は 1普選 2身分差別撤廃 3 政治組織の民主化 4労組の公認などであった

大正デモクラシーの理論を支えた吉野作造(昭和8年56歳没)の「民本主義」の解釈は 明治
憲法での民主主義は「国家の主権は人民にあるという意味と主権の運用は(政治)に
あるという2つの意味を持つと解釈した

(2)

明治憲法での民主主義は国家の主権は人民にあると解されるので民主主義を民本主義とした 大正3年吉野はシベリア出兵 治安維持法 マルクスレーニンの革新運動にも反対 社会民主主義の立場を「中央公論」誌上で論陣を張り政党内閣制を通じて民衆の意思に基づいた政策決定を主張した 普選実現 貴族院 枢密院が特権的機関で藩閥 軍閥 官僚政治を批判した

天皇が主権行使する明治憲法下にあつて 主権の運用は民衆中心の実質的民主主義を主張して「人心の集合は国会開設議院内閣制」にあるとした

京大の憲法学者 美濃部達吉は「国家は法人で天皇は最高の機関であつて憲法に基づき統治権を行使する」とした いわゆる天皇機関説

米騒動(大正7年8月3日越中女一揆)

富山県漁師の主婦40人が米の積み出し中止を要求 西日本中心に関東北九州と全国に広まった 鈴木商店は焼き討ちにもあった

大正5年まで朝鮮総督だった寺内内閣は朝鮮の反発にあつて民衆200万が蜂起朝鮮独立宣言を發表 武断政治から文政へ転換を迫られた

新聞記事報道も禁止警察軍隊も出て検挙者数万人死刑罪も制定された

総辞職後 原敬内閣が成立初の政党内閣が成立した

米騒動は民衆の暴発的一揆のため労働者の組織化が必要 農業米政策の転機となり労働争議が急増した 大正元年5千人 13年には36万人が争議に参加 9年5月2日には初のメーデーと 大きな労働争議となった 官営の八幡製鉄では「溶鉱炉の火は消えた」と大争議に発展した 工業生産力の増大は三井住友など財閥独自の持ち株会社を生み財界の政治的発言力が増した

大正11年7月15日日本共産党が成立 コミンテルンに徳田球一が参加

加藤内閣は共産党を非合法化して治安維持法を制定 死刑罪も規定

自由主義勢力も取り締り「稀代の悪法」と言われた

大正14年には労組解散命令(3.15事件)特高を設置して数万人の大規模検挙に踏みきった

幕藩専制体制への反発

第一次護憲運動 大正の政変 大正デモクラシー吉野作造の民本主義論文

自由と個性を追求 文化は民衆の中から生まれる 民衆文化の開花 同時に労働

者階級 社会主義運動の展開で普選との対決姿勢 治安維持法制定 米騒動(大正7年) 本格的政党内閣(原敬)

第二次護憲運動 護憲三派内閣 大正14年普選実現

資本主義は独占金融資本主義時代

紡績会社配当率	45.4%	44.4%
鐘紡 2割配当 7割配当	35.1	56.8
東洋紡 2割 6割		
日清紡 1割 4割		

大正時代の話題

フルーツパーラー千疋屋誕生 海 早春賦 城ヶ島の雨流行
 森永の箱キャラメル 三越呉服店開業 浅草6区映画街賑わう
 東京駅発5時20分横須賀行 亀の子たわし カフェ女給の白いエプロン
 竹下夢二人気「婦人公論」創刊
 ビオフェルミン発売
 浜辺の歌 宵待ち草流行
 パイロット万年筆発売 カルピス初恋の味
 建て売り住宅が1500円

大正時代の文学

「耽美派」永井荷風 谷崎潤一郎 森鷗外
 「白樺派」武者小路実篤 雑誌(新しき村) 志賀直哉 有島武郎 岸田劉生
 高村光太郎

夏目漱石大正5年没50歳 芥川龍之介 安部能成 野上弥生子
 代表的文学活動 奇跡(早稲田) 三田文学(慶応) 新思潮(東大) 菊池寛
 山本有三
 社会主義思想の影響でプロレタリア文学運動普及 平林たい子 葉山嘉樹
 大衆文学 中里介山 吉川英治 大佛次郎 江戸川乱歩

大正の政治家

西園寺公望 桂太郎 山本権兵衛 大隈重信 原敬 高橋是清
 加藤友三郎 清浦奎吾 寺内正毅 若槻礼次郎など14年で10人